

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2017年度連結決算

2018年5月15日
株式会社 東芝

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの12ヶ月累計です。
- 注記が無い限り、セグメント情報における業績を、現組織ベースに組み替えて表示しています。
- メモリ事業に係る経営成績は、米国会計基準に基づき、連結損益計算書上非継続事業として取り扱われるため、注記が無い限り、売上高、営業損益、税引前損益には含まれておらず、過年度の数値を組み替えて表示しています。



1. 全社業績

2017年度の主要施策・成果

危機的状況からの脱出のための諸施策を実行し、
2018年度からの変革プラン推進に向けた基盤を確立

財務基盤強化

- メモリ事業
 - 譲渡契約締結（9月）
 - ウェスタンデジタルとの和解（12月）
- 第三者割当増資（12月）

リスク遮断

- WEC関連
 - 親会社保証一括払（12月、1月）
 - 債権譲渡（1月）
 - チャプター11再生計画認可（3月）
- 欧州子会社 年金バイアウト（3月）

事業ポートフォリオ見直し

- ランディス・ギア IPO（7月）
- 映像事業譲渡（2月）

ガバナンス強化

- 社内カンパニー分社化（7月、10月）
- 特設注意市場銘柄解除（10月）
- コーポレート執行役体制見直し（11月）

収益性改善

- 構造改革
 - 早期退職優遇制度（11月～）
 - ブラジル子会社譲渡（3月）

資産効率改善

- ノンコア資産の売却
 - 東芝病院譲渡（3月※）
※入金は3月、譲渡完了は4月
 - 芝浦メカトロニクス株式売却（12月）

全社 損益/キャッシュ・フロー項目

単位：億円

	16年度	17年度	差	対業績予想 (2/14公表)
売上高	40,437	39,476	▲961	476
営業損益 %	820 2.0%	641 1.6%	▲179 ▲0.4%	641 1.6%
営業外損益	▲371	183	554	▲17
税引前損益 %	449 1.1%	824 2.1%	375 1.0%	624 1.6%
税金費用	▲579	619	1,198	
非支配持分控除前 継続事業当期純損益	▲130	1,443	1,573	
非支配持分控除前 非継続事業当期純損益	▲11,472	6,961	18,433	
非支配持分帰属損益	1,945	▲364	▲2,309	
当期純損益 %	▲9,657 ▲23.9%	8,040 20.4%	17,697 44.3%	2,840 7.1%
1株当たり 当期純損益	▲¥228.08	¥162.89	¥390.97	
フリー・キャッシュ・フロー	▲448	▲1,093	▲645	4,407

全社 バランスシート項目

	17/3末	18/3末	差	対業績予想 (2/14公表)
株 主 資 本	▲5,529	7,831	13,360	3,231
株 主 資 本 比 率	▲13.0%	17.6%	30.6%	6.4%
純 資 産	▲2,757	10,107	12,864	3,207
Net 有 利 子 負 債	6,829	1,916	▲4,913	▲4,084
Net D/E レ シ オ	-	24%	-	
期末日為替レート(米ドル)	¥112	¥106	▲¥6	▲¥4

単位：億円

今回のポイント 株主資本/Net有利子負債

危機的財務状況を解消し、正常の財務体質レベルへの回帰を実現

● [株主資本]

17年度において株主資本は1兆3,360億円増加し、債務超過状態を解消
株主資本比率：17.6%

- | | | |
|----------|-----------|--------------------------|
| ①資産/事業売却 | 約+3,400億円 | (WEC関連債権、ランディス・ギア、映像事業等) |
| ②課題処理費用 | 約▲1,300億円 | (欧州子会社年金、固定資産減損、構造改革等) |
| ③増資 | 約+6,000億円 | |
| ④その他事業改善 | 約+5,300億円 | (メモリ事業損益約+4,700億円等) |

● [Net有利子負債]

17年度においてNet有利子負債は4,913億円減少
Net D/Eレシオ：24%

- | | | |
|---------------|-----------|-----------------------------|
| ①WEC親会社保証支払 | 約+6,500億円 | |
| ②資産/事業売却 | 約▲4,200億円 | (WEC関連債権、ランディス・ギア、東芝病院等) |
| ③増資 | 約▲6,000億円 | |
| ④その他キャッシュ・フロー | 約▲1,200億円 | (17年度実質FCF約+1,200(P13ご参照)等) |

今回のポイント 売上高/損益/キャッシュ・フロー

● [売上高]

エネルギーシステムソリューションは、ランディス・ギア社がIPO※により連結除外となった影響で減収。インフラシステムソリューションも減収、ストレージ&デバイスソリューションは増収となり、全体では2.4%の減収。為替による全社の影響額は+530億円（メモリ除く）。

※IPO: Initial Public Offering（証券取引所への株式上場）

● [損益]

営業損益641億円に加え、ランディス・ギア社の株式売却益668億円およびブラジル子会社の譲渡損失▲324億円を主因として営業外損益が183億円となったことから、税引前損益は824億円となった。また映像事業売却に伴う税額減少や繰延税金資産の一部再計上等により、継続事業当期純損益は1,443億円となった。

非継続事業当期純損益は、メモリが営業利益率40%に相当する利益を達成したことに加え、WEC関連債権の売却益と、WEC関連債権・株式が税務上の損失として扱われたこと等による税金費用の減少を反映し、6,961億円となった。

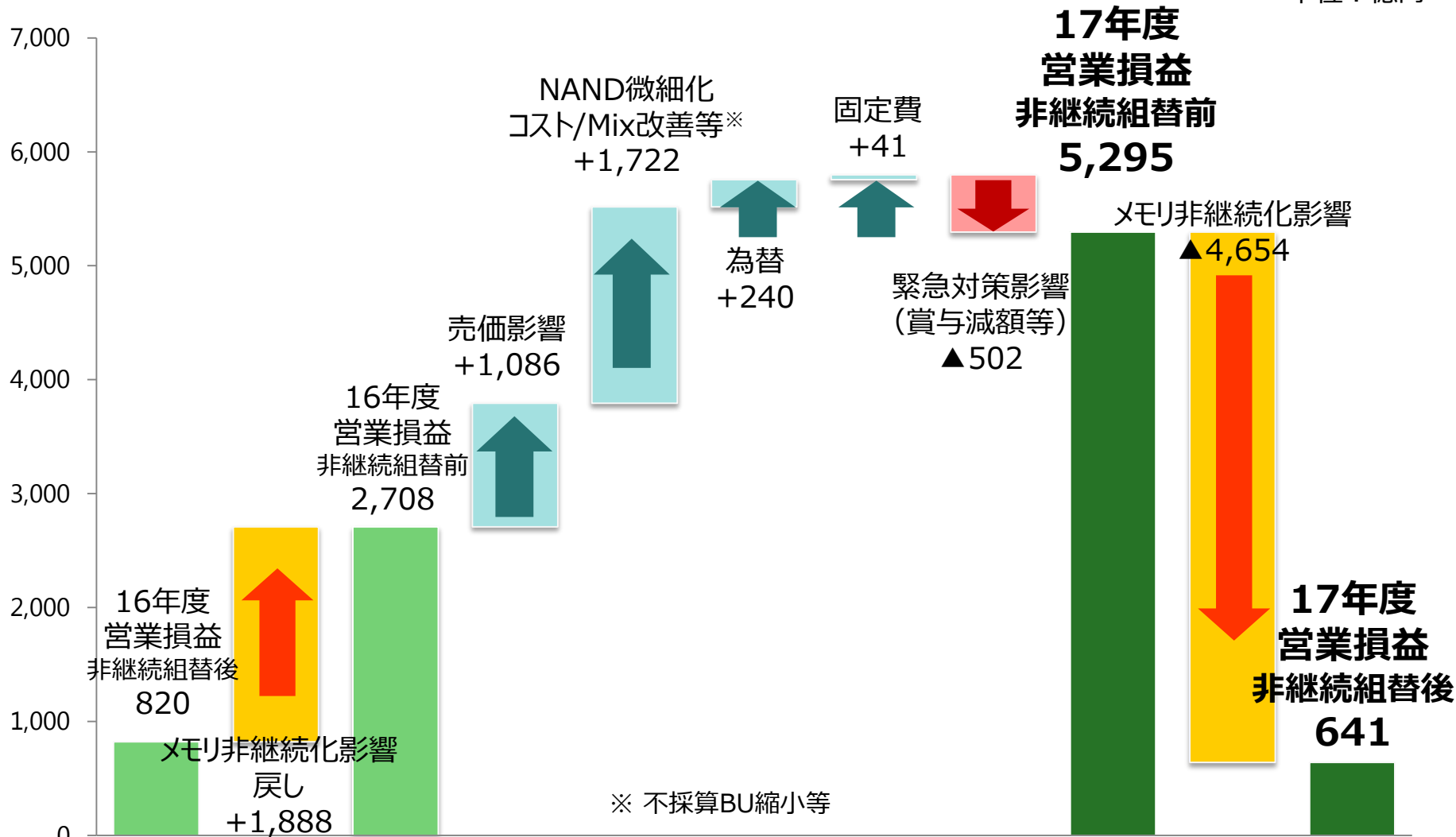
● [キャッシュ・フロー]

営業キャッシュ・フローはWEC親会社保証の支払を行ったものの、当期純損益の大幅な黒字により416億円のプラス。投資キャッシュ・フローはランディス・ギア社の株式売却収入がある一方、メモリへの投資があり1,509億円のマイナス。フリー・キャッシュ・フローは1,093億円のマイナス。

営業損益（対前年分析）

非継続組替前では、メモリの売価・物量・コスト低減による効果で大幅増益

単位：億円



※ 不採算BU縮小等

主な構造改革関連費用の内訳

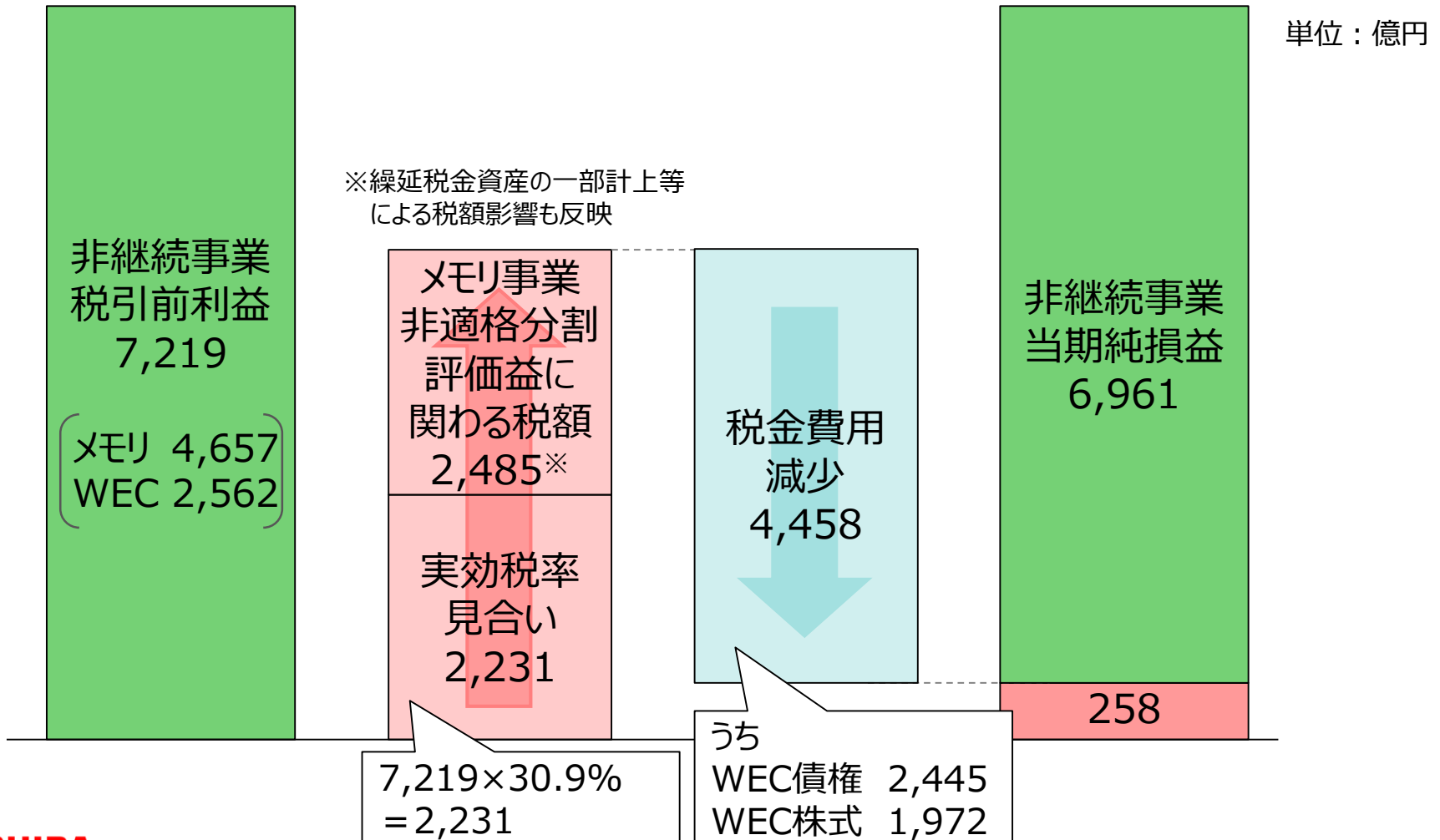
600億円（予定額）のうち、521億円を収益性改善諸施策に充当

		営業内費用	営業外費用
エネルギーシステム ソリューション	ブラジル子会社譲渡		▲324
	余剰生産設備廃却等		▲47
インフラシステム ソリューション	早期退職関連費用等	▲21	
ストレージ&デバイス ソリューション	固定資産減損	▲103	
インダストリアルICT ソリューション	早期退職関連費用等	▲26	
合計		▲150	▲371

単位：億円

非継続事業損益（メモリ・WEC）

- 3月28日（米国東部時間）に裁判所に認可されたWECチャプター11の再生計画や関連法規等に基づき、WEC株式の取得価額全額が、2017年度に税務上の損失として扱われる



営業外損益

ランディス・ギア社および映像事業の株式売却益を主因に改善

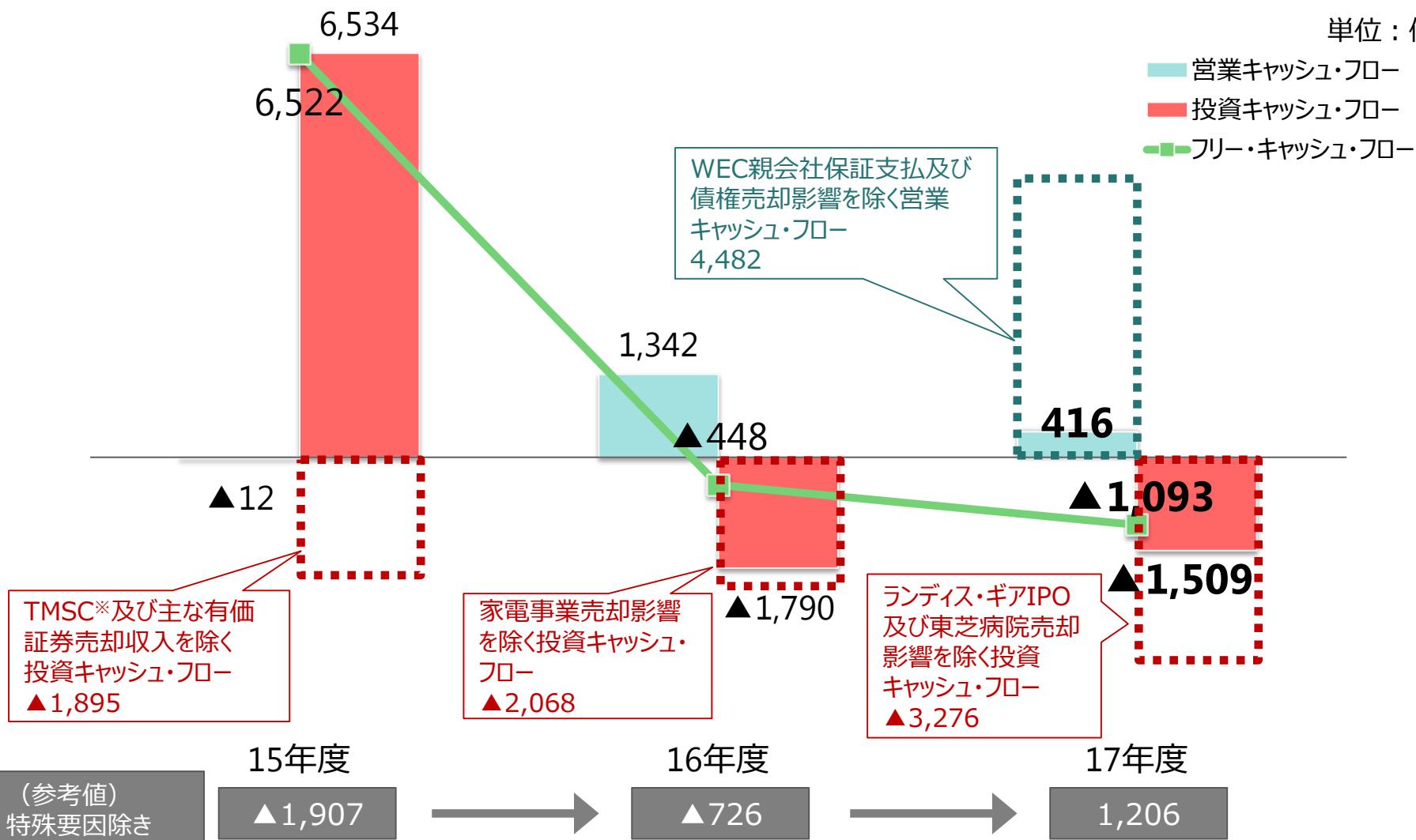
単位：億円

	16年度	17年度	差	17/4Qの主な案件
金融収支	▲115	▲216	▲101	－
為替差損益	▲5	▲112	▲107	－
固定資産売却損益	149	216	67	－
有価証券売却損益	285	691	406	東芝映像ソリューション社株式売却益、東芝南米社株式売却損
訴訟和解費用	▲656	▲75	581	－
その他	▲29	▲321	▲292	－
合計	▲371	183	554	

フリー・キャッシュ・フロー

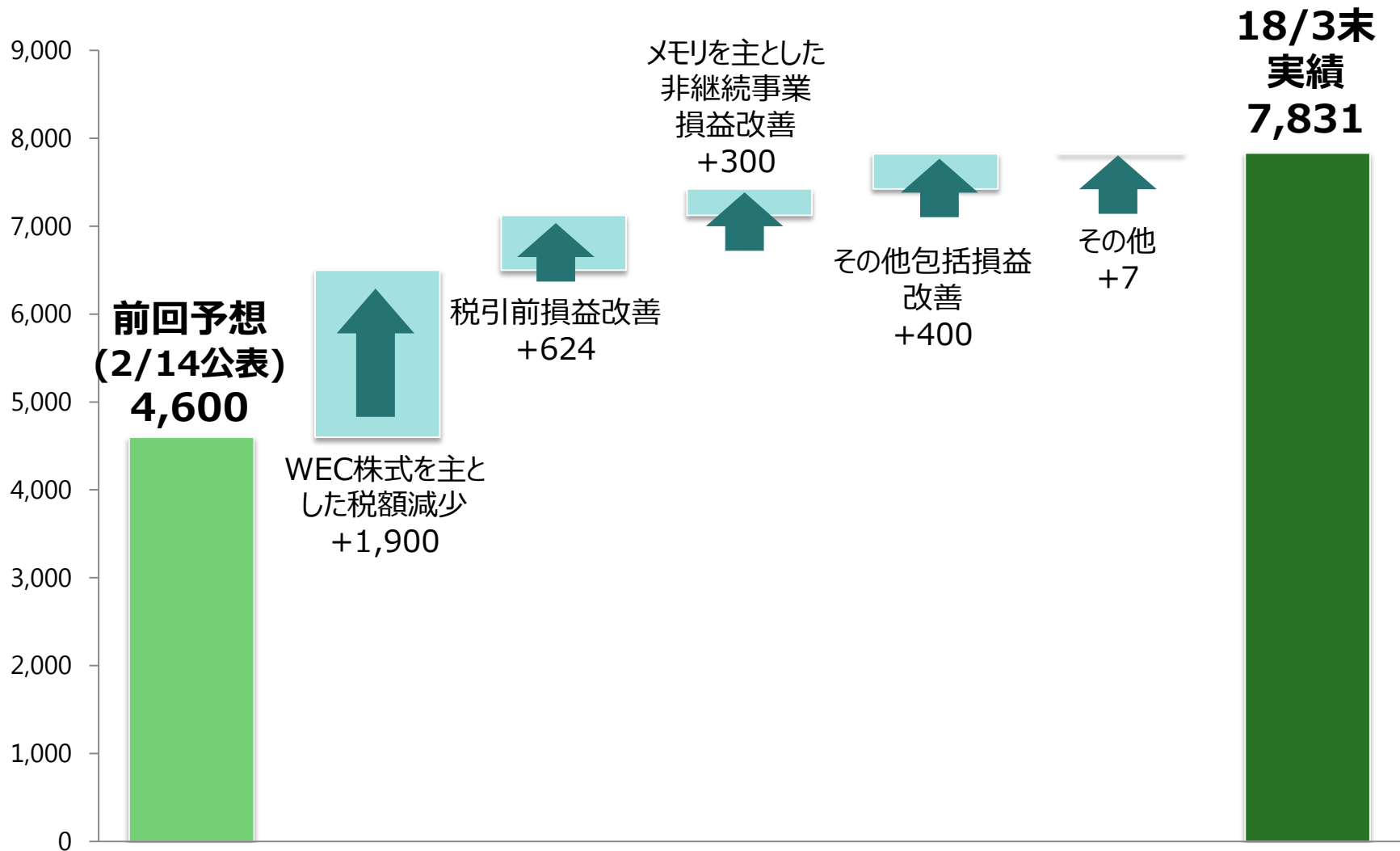
WEC関連やランディス・ギアIPOなどの特殊要因を除いたベースで黒字化

単位：億円



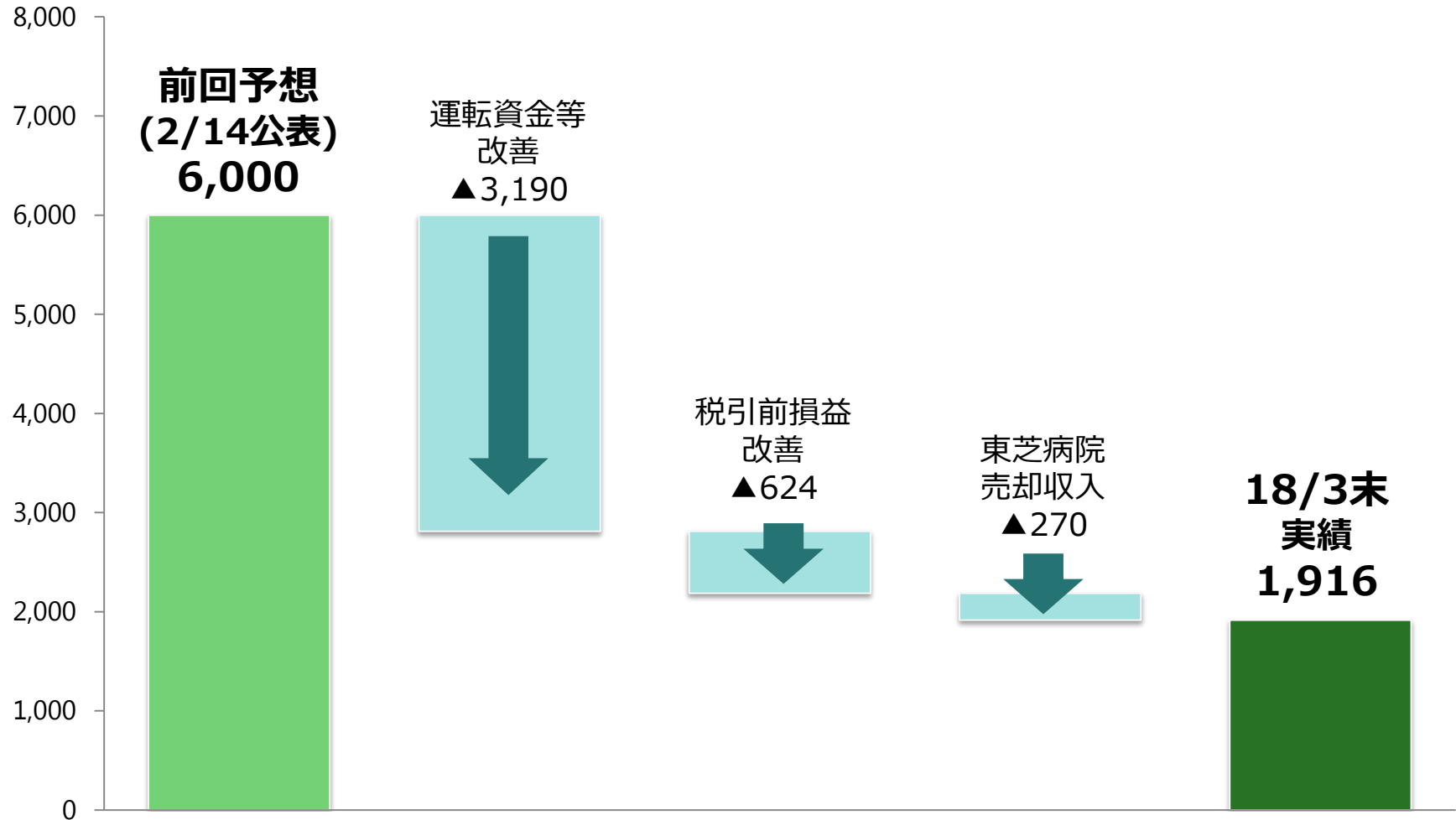
株主資本 対前回予想

単位：億円



Net有利子負債 対前回予想

単位：億円



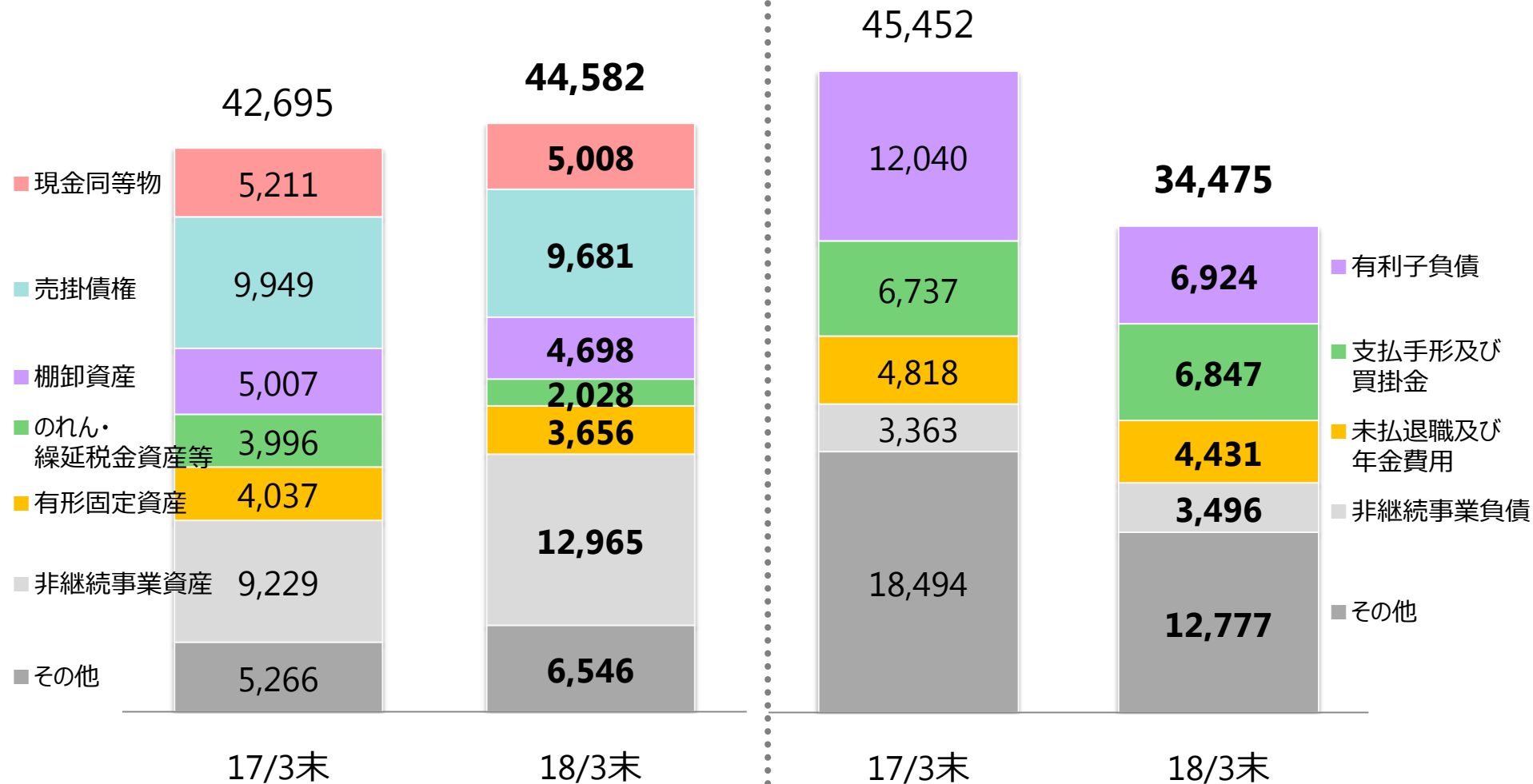
貸借対照表

WEC親会社保証支払により負債が大幅に減少（リスクの遮断）

資産

負債

単位：億円





2. セグメント別業績

セグメント別 メモリ非継続組替後

		16年度	17年度	差 (伸長率)	対業績予想 (2/14公表)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	9,749	8,447	▲1,302 (▲13%)	47
	営業損益	▲417	▲148	269	▲98
	ROS	▲4.3%	▲1.8%	2.5%	▲1.2%
インフラシステム ソリューション	売上高	12,624	12,468	▲156 (▲1%)	▲132
	営業損益	584	480	▲104	60
	ROS	4.6%	3.9%	▲0.7%	0.6%
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	5,077	5,228	151 (+3%)	128
	営業損益	163	270	107	50
	ROS	3.2%	5.2%	2.0%	0.9%
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	8,371	8,796	425 (+5%)	296
	営業損益	576	473	▲103	23
	ROS	6.9%	5.4%	▲1.5%	0.1%
インダストリアルICT ソリューション	売上高	2,396	2,589	193 (+8%)	89
	営業損益	71	13	▲58	▲17
	ROS	2.9%	0.5%	▲2.4%	▲0.7%
その他	売上高	5,356	5,256	▲100 (▲2%)	156
	営業損益	▲171	▲486	▲315	▲86
消去	売上高	▲3,136	▲3,308	▲172	▲108
	営業損益	14	39	25	709
非継続事業控除後 合計	売上高	40,437	39,476	▲961 (▲2%)	476
	営業損益	820	641	▲179	641
	ROS	2.0%	1.6%	▲0.4%	1.6%

単位：億円

セグメント別 メモリ非継続組替前

		16年度	17年度	差 (伸長率)	対業績予想 (2/14公表)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	9,749	8,447	▲1,302 (▲13%)	47
	営業損益	▲417	▲148	269	▲98
	ROS	▲4.3%	▲1.8%	2.5%	▲1.2%
インフラシステム ソリューション	売上高	12,624	12,468	▲156 (▲1%)	▲132
	営業損益	584	480	▲104	60
	ROS	4.6%	3.9%	▲0.7%	0.6%
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	5,077	5,228	151 (+3%)	128
	営業損益	163	270	107	50
	ROS	3.2%	5.2%	2.0%	0.9%
ストレージ&デバイス ※ ソリューション	売上高	17,002	20,064	3,062 (+18%)	▲36
	営業損益	2,470	5,196	2,726	296
	ROS	14.5%	25.9%	11.4%	1.5%
インダストリアルICT ソリューション	売上高	2,396	2,589	193 (+8%)	89
	営業損益	71	13	▲58	▲17
	ROS	2.9%	0.5%	▲2.4%	▲0.7%
その他	売上高	5,356	5,256	▲100 (▲2%)	156
	営業損益	▲171	▲486	▲315	▲86
消去	売上高	▲3,496	▲4,046	▲550	▲146
	営業損益	8	▲30	▲38	690
非継続事業控除前 合計	売上高	48,708	50,006	1,298 (+3%)	106
	営業損益	2,708	5,295	2,587	895
	ROS	5.6%	10.6%	5.0%	1.8%

単位：億円

※メモリ事業に係る経営成績は、連結損益計算書上非継続事業として取り扱われます。

上表のセグメント別売上高、営業損益については、参考のため、メモリ事業を非継続化する前の状態で表示しています。

エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

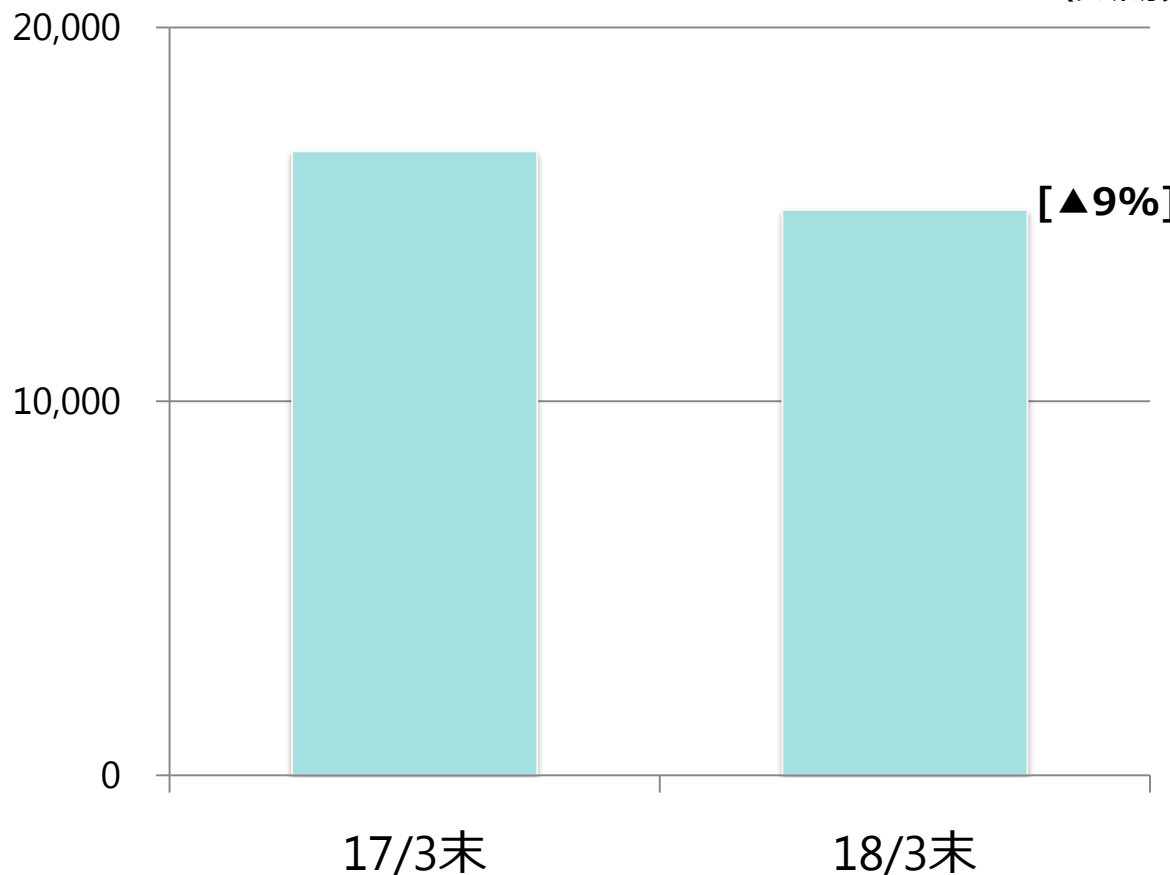
		16年度	17年度	差	(伸長率)	
エネルギーシステム ソリューション	売上高	9,749	8,447	▲1,302	(▲13%)	為替影響 +172
	営業損益	▲417	▲148	269		為替影響 ▲11
	ROS	▲4.3%	▲1.8%	2.5%		緊急対策 ▲90
	セグメント別FCF			▲4,230		
原子力	売上高	1,821	1,686	▲135	(▲7%)	海外子会社売却等により減収、前年度NuGen社減損影響により黒字化。
	営業損益	▲451	18	469		
	ROS	▲24.8%	1.1%	25.9%		
火力・水力	売上高	3,391	3,495	104	(+3%)	海外建設案件を中心に増収となるが、建設案件の追加コスト引当等により悪化。
	営業損益	39	▲117	▲156		
	ROS	1.2%	▲3.3%	▲4.5%		
送変電・配電等	売上高	2,977	2,828	▲149	(▲5%)	AMI（スマートメーターシステム）や住宅・海外向け太陽光で減収、減益。
	営業損益	27	2	▲25		
	ROS	0.9%	0.1%	▲0.8%		
ランディス・ギア	売上高	1,812	658	▲1,154		IPO実施による連結除外以前の金額のみ含む。
	営業損益	74	34	▲40		
その他	売上高	▲252	▲220	32		セグメント内消去の他、水素関連事業の開発費等を含む。
	営業損益	▲106	▲85	21		

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

エネルギーシステムソリューション 受注残高推移

単位：億円
[対17/3末]

※発電システムおよび送変電・配電システム
(太陽光発電、ランディス・ギアを除く)



- 原子力は、再稼働対応等を中心に受注し残高は微減。
- 火力・水力は、大型案件の受注があるものの建設案件の進捗に基づく売上等により残高は減少。
- 送変電・配電等は、大型案件の受注が遅れていること等により残高は微減。

インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		16年度	17年度	差	(伸長率)	
インフラシステム ソリューション	売上高	12,624	12,468	▲156	(▲1%)	為替影響 +97
	営業損益	584	480	▲104		為替影響 ▲2
	ROS	4.6%	3.9%	▲0.7%		緊急対策 ▲156
セグメント別FCF			517			
公共インフラ	売上高	4,219	4,006	▲213	(▲5%)	公共事業端境期に伴う受注物件の減少により減収。営業損益は減収と緊急対策の規模縮小により減益。
	営業損益	288	241	▲47		
	ROS	6.8%	6.0%	▲0.8%		
ビル・施設	売上高	5,706	5,508	▲198	(▲3%)	蛍光灯等の従来型光源事業縮小に伴う受注物件の減少により減収。営業損益は減収と緊急対策の規模縮小により減益。
	営業損益	253	175	▲78		
	ROS	4.4%	3.2%	▲1.2%		
産業システム	売上高	3,099	3,466	367	(+12%)	産業用コンポーネントの規模増により増収増益
	営業損益	43	64	21		
	ROS	1.4%	1.8%	0.4%		

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

ストレージ&デバイスソリューション 主要事業内訳 (メモリ非継続組替前)

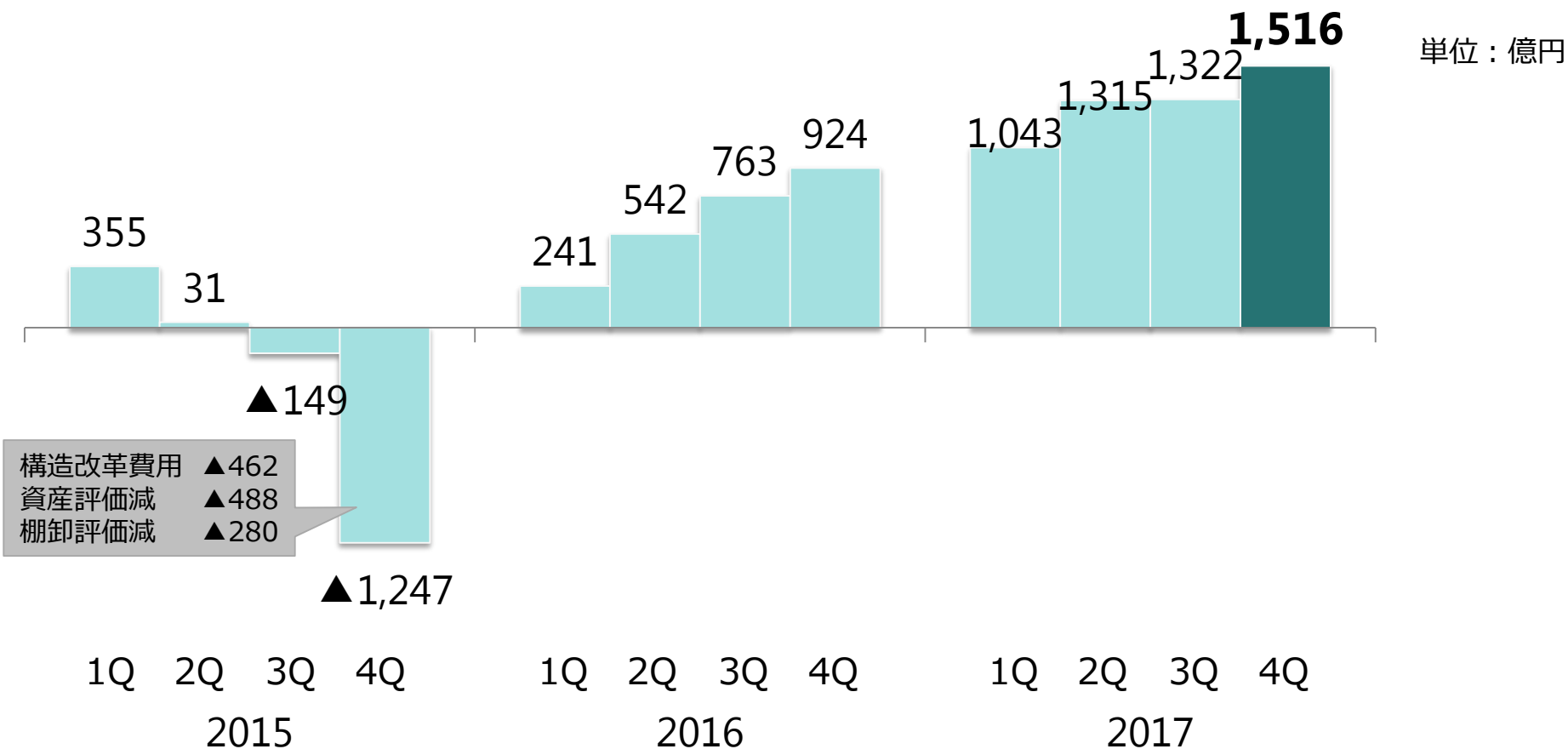
単位：億円

		16年度	17年度	差	(伸長率)		
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	17,002	20,064	3,062	(+18%)	為替影響 +357	
	営業損益	2,470	5,196	2,726		為替影響 +219	
	ROS	14.5%	25.9%	11.4%		緊急対策 ▲119	
セグメント別FCF			1,141				
ストレージ	メモリ	売上高	8,972	12,049	3,077	(+34%)	旺盛なスマホやSSD需要により売価は安定的に推移、売上高・損益ともに対前年上振れ。
		営業損益	1,866	4,791	2,925		
		ROS	20.8%	39.8%	19.0%		
	HDD	売上高	4,613	4,395	▲218	(▲5%)	ニアライン(企業向け大容量)は伸長するも、ノートPC向けの縮小により全体では減収減益
		営業損益	360	254	▲106		
		ROS	7.8%	5.8%	▲2.0%		
デバイス他	売上高	3,417	3,620	203	(+6%)	産業向け等が好調なディスクリートは増収増益となるも、システムLSIが減益、全体では増収減益	
	営業損益	244	151	▲93			
	ROS	7.1%	4.2%	▲2.9%			

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

ストレージ&デバイスソリューション 四半期別営業損益トレンド (メモリ非継続組替前)

対17/3Q：メモリが好調を維持し、引き続き増益



※15年度については、(旧) セミコンダクター & ストレージ社の数値を表示しており、かつセグメント別営業損益の算定方法変更前の数値で表示しています。

リテール&プリンティングソリューション インダストリアルICTソリューション

単位：億円

		16年度	17年度	差	(伸長率)	
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	5,077	5,228	151	(+3%)	為替影響 +112
	営業損益	163	270	107		為替影響 +20
	ROS	3.2%	5.2%	2.0%		緊急対策 ▲9
セグメント別FCF			148			

- ・売上高は、リテール事業、プリンティング事業とも堅調に推移し増収。
- ・営業損益は、リテール事業、プリンティング事業とも大幅な増益。

		16年度	17年度	差	(伸長率)	
インダストリアルICT ソリューション	売上高	2,396	2,589	193	(+8%)	為替影響 ±0
	営業損益	71	13	▲58		為替影響 ±0
	ROS	2.9%	0.5%	▲2.4%		緊急対策 ▲61
セグメント別FCF			72			

- ・売上高は、官公庁向けシステム案件、製造業向けシステム案件およびIoT/AI案件ほかの受注により増収。
- ・営業損益は、構造改革、緊急対策の規模縮小および一部の国内向け情報システム案件の影響により減益。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

その他

単位：億円

		16年度	17年度	差	(伸長率)	
PC	売上高	1,918	1,673	▲245	(▲13%)	海外B2C完全撤退や国内B2C及び欧米販売低調等により減収。損益は、規模減に加えSSD・DRAM等の部材コスト上昇もあり悪化。
	営業損益	▲5	▲96	▲91		
	ROS	▲0.3%	▲5.7%	▲5.4%		
映像	売上高	616	469	▲147	(▲24%)	2/28に株式譲渡完了により連結除外。17年度の数字には株式譲渡以前の金額のみ含む
	営業損益	▲129	▲86	43		
	ROS	▲20.9%	▲18.3%	2.6%		



3. 2018年度業績予想

全社

	17年度 実績	18年度 業績予想	差
売上高	39,476	36,000	※1 ▲3,476
営業損益	641	700	59
%	1.6%	1.9%	0.3%
税引前損益	824	※2 900	76
%	2.1%	2.5%	0.4%
当期純損益	8,040	※3 10,700	2,660
%	20.4%	29.7%	9.3%
1株当たり 当期純損益	¥162.89	※4 ¥164.20	¥1.31
フリー・キャッシュ・フロー	▲1,093	※5 12,900	13,993

	18/3末 実績	19/3末 見通し	差
株主資本	7,831	18,700	10,869
株主資本比率	17.6%	42.5%	24.9%
純資産	10,107	21,100	10,993
Net有利子負債	1,916	▲11,000	▲12,916
Net D/E レシオ	24%	▲59%	▲83%
期末日為替レート(米ドル)	¥106	¥100	▲¥6

単位：億円

※1: ランディス・ギアおよび
映像事業除外影響 ▲1,127
為替影響 ▲1,500

※2: メモリ事業 持分法損益 500
(2Q以降は持分法損益と仮定)

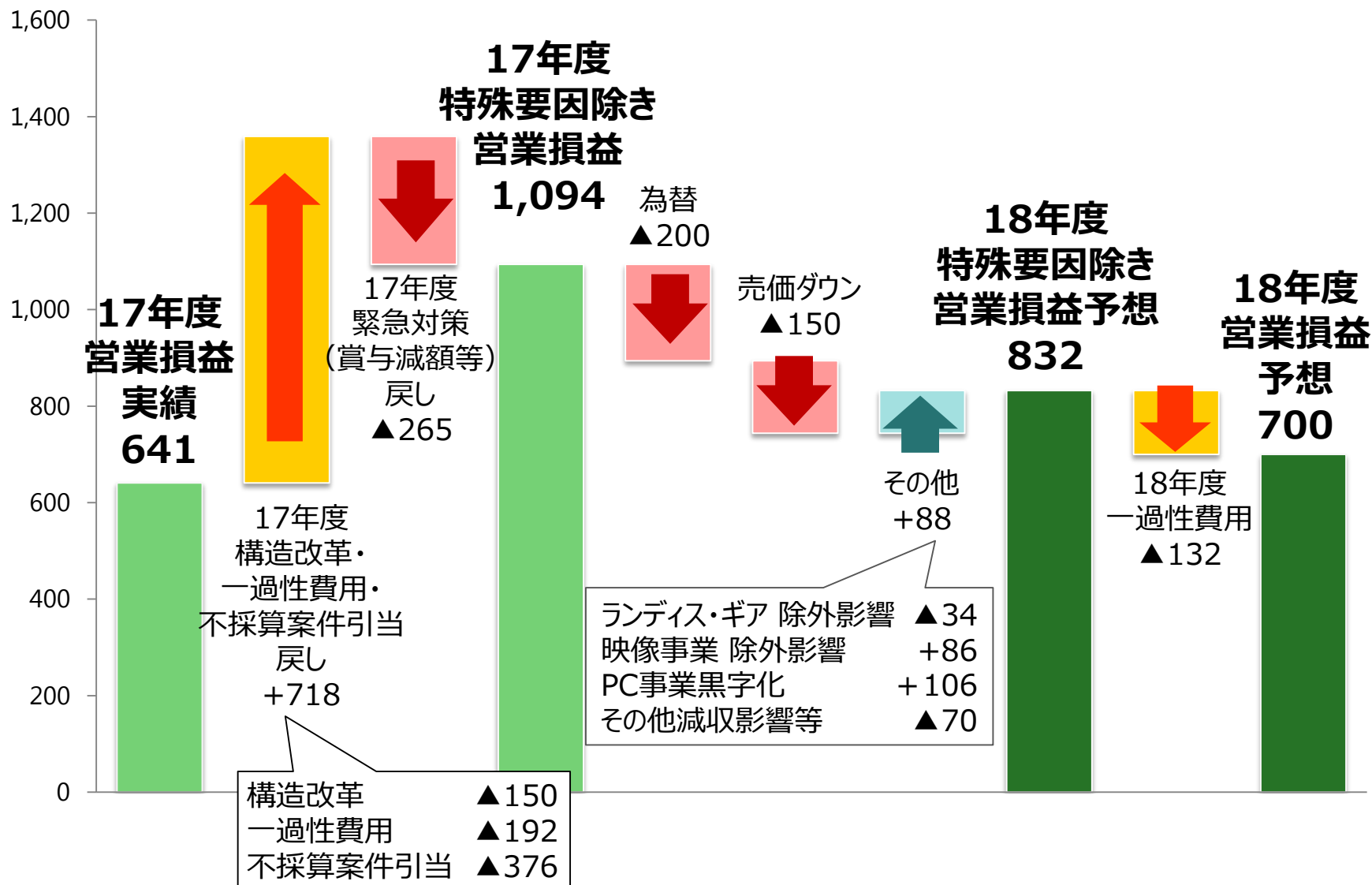
※3: メモリ事業 売却益 9,700
メモリ事業 非継続事業損益 800
(1Qは非継続事業と仮定)

※4: 株式併合影響考慮前

※5: メモリ事業売却収入 14,500

営業損益予想 対前年実績

単位：億円



セグメント別 メモリ非継続組替後

		17年度 実績	18年度 業績予想	差	(伸長率)	為替影響	緊急対策 影響	単位：億円
エネルギーシステム ソリューション	売上高	8,447	6,400	▲2,047	(▲24%)	▲248	-	
	営業損益	▲148	80	228		▲11	▲43	
	ROS	▲1.8%	1.3%	3.1%				
インフラシステム ソリューション	売上高	12,468	12,500	32	(+0%)	▲344	-	
	営業損益	480	370	▲110		▲29	▲73	
	ROS	3.9%	3.0%	▲0.9%				
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	5,228	4,800	▲428	(▲8%)	▲284	-	
	営業損益	270	190	▲80		▲11	0	
	ROS	5.2%	4.0%	▲1.2%				
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	8,796	8,300	▲496	(▲6%)	▲614	-	
	営業損益	473	210	▲263		▲161	▲40	
	ROS	5.4%	2.5%	▲2.9%				
インダストリアルICT ソリューション	売上高	2,589	2,500	▲89	(▲3%)	0	-	
	営業損益	13	50	37		0	▲39	
	ROS	0.5%	2.0%	1.5%				
その他	売上高	5,256	4,700	▲556	(▲11%)	▲5	-	
	営業損益	▲486	▲200	286		8	▲70	
消去	売上高	▲3,308	▲3,200	108		▲5	-	
	営業損益	39	0	▲39		4	-	
非継続事業控除後 合計	売上高	39,476	36,000	▲3,476	(▲9%)	▲1,500	-	
	営業損益	641	700	59		▲200	▲265	
	ROS	1.6%	1.9%	0.3%				



Appendix

設備投資（発注ベース）

単位：億円

設備投資（発注ベース）	16年度 実績	17年度 実績	18年度 見通し	17/4Q 実績	17/4Qの主な案件
エネルギーシステム ソリューション	144	107	170	59	-
インフラシステム ソリューション	266	321	620	131	-
リテール&プリンティング ソリューション	70	83	100	21	-
ストレージ&デバイス ソリューション	92	205	230	22	-
インダストリアルICT ソリューション	22	23	40	14	-
その他	111	116	190	35	-
合計	705	855	1,350	282	

(参考)

メモリ※	3,540	5,768	
------	-------	-------	--

投融資	56	965	150
------------	-----------	------------	------------

※メモリの設備投資には、持分法適用会社であるフラッシュフォワード合同会社等における当社分の設備投資の額が含まれています。

2017年度の主要アイテムと影響額

	税引前損益	税金費用	キャッシュ
メモリ事業 非適格分割	0	▲3,044	0
WEC 親会社保証支払	0	0	▲6,507
WEC 関連債権 (売却益)	2,416	▲746	2,441
WEC 関連債権 (税額減少)	0	2,445	0
WEC 関連株式	0	1,972	0
WEC関連 小計	2,416	3,671	▲4,066
繰延税金資産再計上	0	1,104	0
ランディス・ギア IPO	668	▲227	1,497
映像事業譲渡	303	369	
欧州子会社 年金バイアウト	▲139	0	
ブラジル子会社譲渡	▲324	193	
早期退職関連費用等	▲47	14	
余剰生産設備廃却等	▲47	14	
固定資産減損	▲103	0	0
構造改革関連費用 小計	▲521	221	
主要アイテム 合計	2,727	2,094	▲2,569

※ 継続事業・非継続事業の合計

分配可能額

- 7月31日付で、資本金および資本準備金の減少（減資等）を実施予定
※定時株主総会での決議等、会社法および定款に定める手続きが完了することが条件
- 減資等の実施後も、なお分配可能額はマイナスであり、会社法上、現時点では配当の支払いや自己株買いを行うことはできない

単独純資産内訳

2018/3末

減資等実施後
(メモリ売却前)

単位：億円

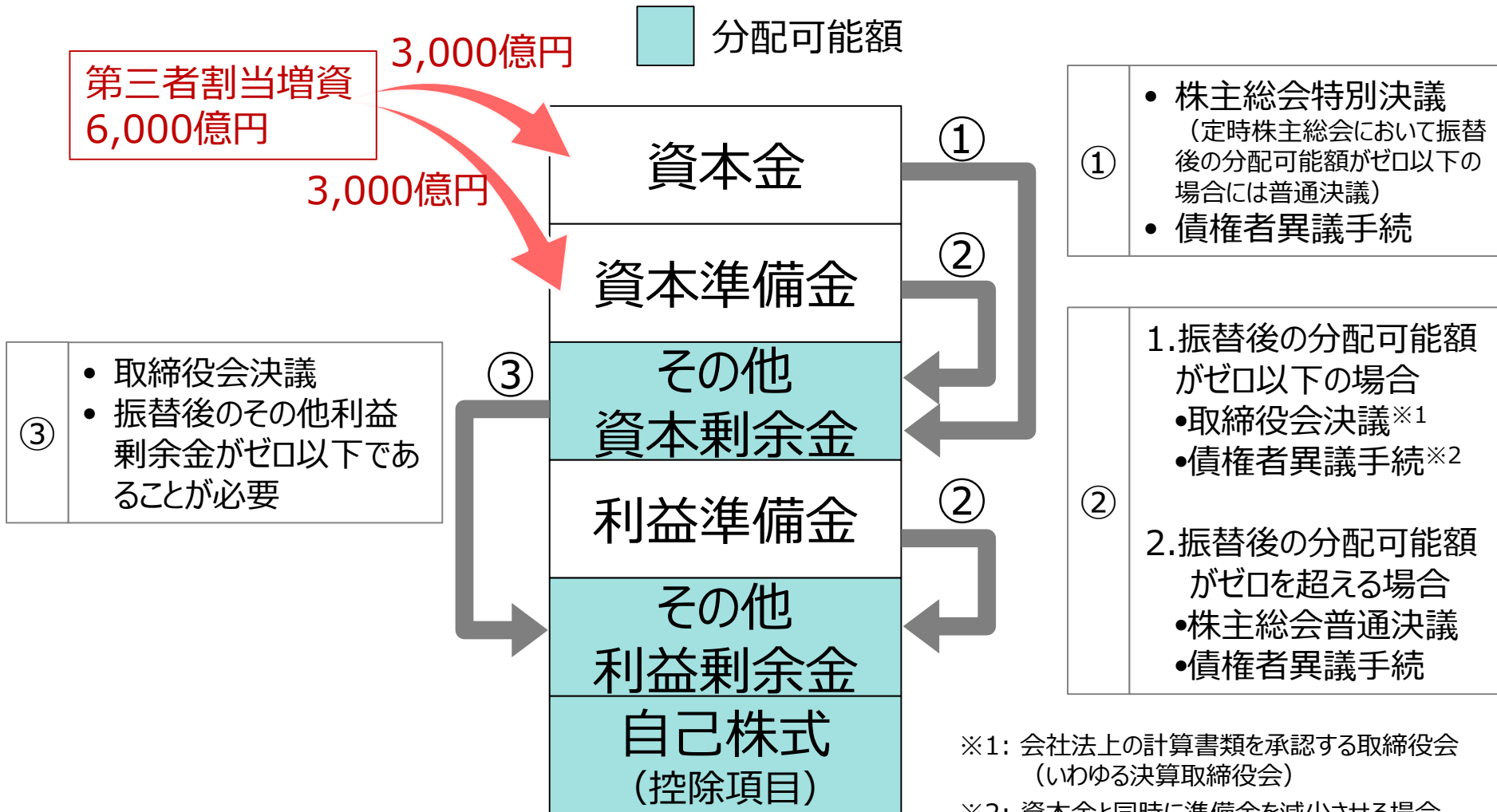
資本金	5,000	2,000
資本準備金	3,000	0
その他資本剰余金	1,587	0
その他利益剰余金	▲9,144	▲1,557
自己株式	▲21	▲21
評価・換算差額等	62	62
純資産合計	484	484
分配可能額	▲7,578	▲1,578

+6,000

分配可能額に関する手続の概要

- 資本金または準備金の振替により分配可能額を増加させるためには、会社法および定款に定める各種手続が必要となる

■ 分配可能額

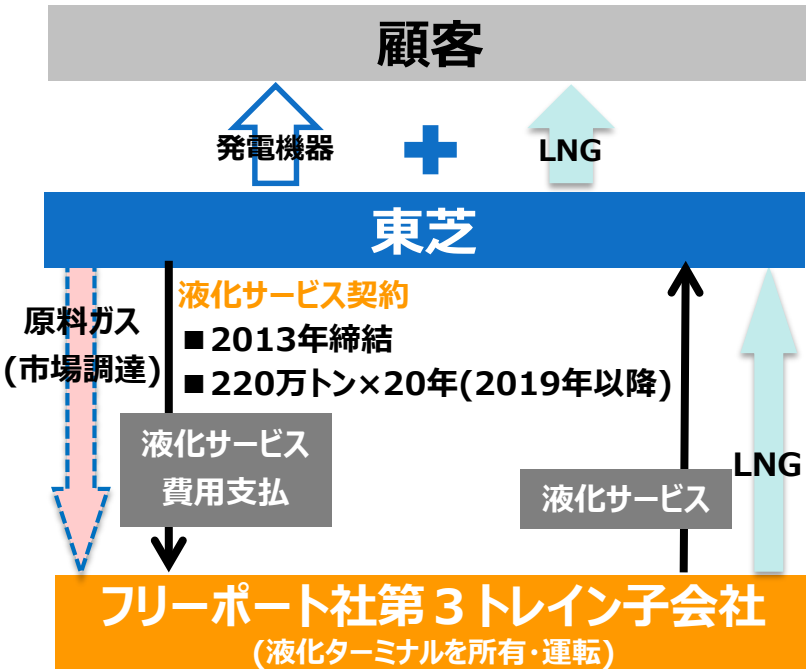


※1: 会社法上の計算書類を承認する取締役会 (いわゆる決算取締役会)

※2: 資本金と同時に準備金を減少させる場合

LNG事業（フリーポート）

液化天然ガス（LNG）の供給開始にむけ供給体制整備・営業活動を継続



販売契約の獲得状況

- 液化役務契約総量220万トン/年について、複数の発効条件付基本合意書（数量、価格、期間等合意）を締結済み
- 上記基本合意書締結済分と合せて、契約総量を超える規模の商談継続中

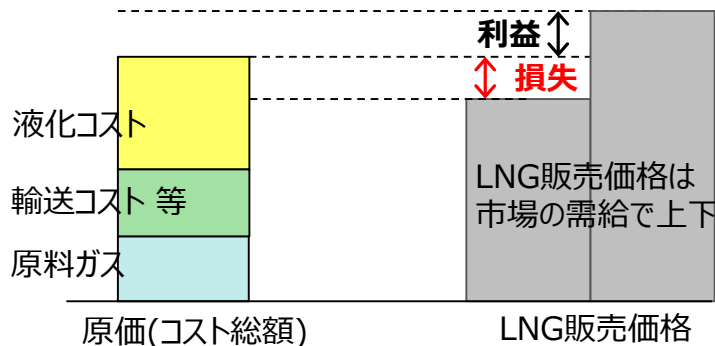
具体的な活動進捗

- 2019年9月（ただし数ヶ月の遅延の可能性が見込まれる）からのLNG引渡し開始へ向けた準備として、原料ガス等の調達から、LNG供給までを担う米国子会社（Toshiba America LNG）を設立（2017年2月）、運営開始（2017年7月）

会計上の取扱い

- 従来、請負工事におけるロスコントラクトの計上を参考に、LNG正式販売契約が締結された時点で、その契約価格が見積原価を下回っていた場合、当該売却損を契約時に認識する前提で考えていた
- しかしながら、LNGは製品であり、請負工事の会計処理を採用するのは適切ではないとの結論となった
- 結果、在庫の評価として損益を認識すべきとの結論に至り、当該LNGの原材料の手配契約を完了した時点で、当該契約価格が見積原価を下回っていた場合、棚卸資産の評価減として損失を認識することにした
- 2017年度第4四半期決算においては、原材料の手配契約が締結されたものではなく、特段の会計処理を実施していない

当社損益の考え方



メモリ事業 貸借対照表

- 下記の情報は（株）東芝および東芝メモリ（株）を含む当社連結グループ全体における、メモリ事業に関する資産・負債を表示しています。当社連結B/S上では消去される資産・負債を含んでいることから、当社連結B/S上の非継続事業資産・負債とは一致しません。

資産	17/3末	18/3末	単位：億円
現金及び現金同等物	1,866	323	
受取手形及び売掛金	1,504	2,377	
棚卸資産	1,243	1,607	
短期貸付金	17	※ 1,464	※グループ預け金を含む
有形固定資産	2,548	4,919	
持分法投資勘定	1,494	2,685	
その他の資産	866	2,443	
資産合計	9,538	15,818	
負債	17/3末	18/3末	
短期借入金	12	—	
支払手形及び買掛金	730	797	
未払金及び未払費用	1,604	3,400	
未払法人税等及びその他の未払税金	496	※ 903	※非適格分割課税を含む
未払退職及び年金費用	493	436	
その他の負債	325	838	
負債合計	3,660	6,374	

エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		17年度 実績	18年度 業績見通し	差	(伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	8,447	6,400	▲2,047	(▲24%)
	営業損益	▲148	80	228	
	ROS	▲1.8%	1.3%	3.1%	
原子力	売上高	1,686	1,549	▲137	(▲8%)
	営業損益	18	79	61	
	ROS	1.1%	5.1%	4.0%	
火力・水力	売上高	3,495	2,785	▲710	(▲20%)
	営業損益	▲117	55	172	
	ROS	▲3.3%	2.0%	5.3%	
送変電・配電等	売上高	2,828	2,268	▲560	(▲20%)
	営業損益	2	36	34	
	ROS	0.1%	1.6%	1.5%	
ランディス・ギア	売上高	※ 658	-	▲658	
	営業損益	34	-	▲34	
その他	売上高	▲220	▲202	18	
	営業損益	▲85	▲90	▲5	

※17年度のランディス・ギアはIPO(7/25実施)までの金額のみ含む

インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		17年度 実績	18年度 業績見通し	差	(伸長率)
インフラシステム ソリューション	売上高	12,468	12,500	32	(+0%)
	営業損益	480	370	▲110	
	ROS	3.9%	3.0%	▲0.9%	
公共インフラ	売上高	4,006	3,849	▲157	(▲4%)
	営業損益	241	170	▲71	
	ROS	6.0%	4.4%	▲1.6%	
ビル・施設	売上高	5,508	5,780	272	(+5%)
	営業損益	175	178	3	
	ROS	3.2%	3.1%	▲0.1%	
産業システム	売上高	3,466	3,593	127	(+4%)
	営業損益	64	28	▲36	
	ROS	1.8%	0.8%	▲1.0%	
ビル・施設 売上高内訳	昇降機	2,145	2,170	25	(+1%)
	照明	1,489	1,560	71	(+5%)
	空調	1,874	2,050	176	(+9%)

※ビル・施設 売上高内訳は、今後年間実績と見通しを公表する予定

ストレージ&デバイスソリューション 主要事業内訳

単位：億円

		17年度 実績	18年度 業績見通し	差	(伸長率)
ストレージ&デバイス ソリューション	売上高	8,796	8,300	▲496	(▲6%)
	営業損益	473	210	▲263	
	ROS	5.4%	2.5%	▲2.9%	
半導体 ※1	売上高	3,598	3,630	32	(+1%)
	営業損益	164	89	▲75	
	ROS	4.6%	2.5%	▲2.1%	
HDD他 ※2	売上高	5,198	4,670	▲528	(▲10%)
	営業損益	309	121	▲188	
	ROS	5.9%	2.6%	▲3.3%	

※1：ディスクリット、システムLSI、ニューフレアテクノロジー社

※2：HDD、内部消去等

その他

単位：億円

		17年度 実績	18年度 業績見通し	差 (伸長率)
PC	売上高	1,673	1,900	227 (+14%)
	営業損益	▲96	10	106
	ROS	▲5.7%	0.5%	6.2%

TOSHIBA

Leading Innovation >>>